

DEL.MAGA



WEB版DEL.MAGAもスタートしました。

今年の2月からスタートしたDEL.MAGA（デルマガ）ですが、WEB版も4月からスタートしました。WEBの特性である「即時性」を活かして、最新的话题をできるだけ高い頻度で更新をしていこうと思っています。おまけで営業社員のつぶやきや日常も公開しています。

冊子版は年に4回、WEB版は毎日を目標に公開していこうと思っていますので、冊子版・WEB版共々よろしくお願いします。

さて、今回はWEB担当者なら誰でも一度は聞いたことのあるSEOについて特集しています。WEBを事業に活かしたい、売り上げを伸ばしたいと思っている担当者も多いかと思います。

SEOとは何なのか、何が大切なのか、一度考えてみましょう。

デルター株式会社営業部サイト「WEB版DEL.MAGA（デルマガ）」

<http://petit.daas.ne.jp/delmaga/>

特集

「SEO」って何？

「SEO」という言葉は、ホームページ担当者なら一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。Search Engine Optimizationの略で、日本語では、「検索エンジン最適化」などと訳されます。本もたくさん出ていますし、「SEO」で検索などとすると、それを提供している業者がたくさん見つかります。

「ホームページで売上げを伸ばしたい」「上位に表示すればアクセス数が増えるのではないか」。こんな期待を持って、SEO業者のサービス利用を検討している方もみえるかと思います。もし利用する

のであれば、そのサービス内容をよく確認されることをおすすめします。SEOに関して「絶対」ということはあり得ません。小手先の対策をすると、逆効果になる場合もあります。本来、SEOとは対策するようなものではなく、地道な更新作業の結果であると思います。コンテンツを定期的に更新したり、新しい情報を公開するといった、ある意味「面倒」な作業をせずに、簡単に順位を上げようとするのは少し無理があるように思います。



そもそもSEOで何がしたいのか

何のためにSEOを実施したいのでしょうか。これをしっかりと確認することが大切です。「ホームページからの売上げを伸ばしたい」「ホームページからの問い合



わせを増やしたい」このようなご相談をよくいただきます。しかしよく考えてみてください。検索エンジンへの対策をして、上位に表示されるだけで、これらの目的が達成されるのでしょうか。

SEOへの幻想

SEOが「すべてを解決する夢の対策」のように思っている方もみえるように感じています。検索エンジンで上位に表示されることは、もちろん大切ですし、上位表示されることでアクセス数の増加は期待できます。しかし、せっかくだどり着いても、その後に閲覧者にアクションを起こしてもらわなくては、意味がありません。

つまり、SEOをする前に、自社のホームページがどういう状態なのか、何がしたいのか、誰に向けて情報を出したいのかをしっかりと見直す必要があります。SEOはある意味「広告」行為です。上手に「広告」ができたとしても、商品に魅力がなければ売れないでしょう。ホームページに置き換えて言えば、SEOに力を入れすぎて、ホームページの内容が貧弱だったり、ほとんど更新されていないような状態では、2回目の訪問は期待できないでしょう。ホームページがしっかりとしていない状態でSEOに力を入れすぎると、訪問者に「がっかり感」を与えてしまい、逆効果になってしまうかもしれません。

SEO以前に、自社のホームページがどんな状態なのかをしっかりと把握することが大切なのです。



おかざき百景

2010/06/14
岡崎市東公園
菖蒲まつりにて



岡崎市東公園の菖蒲

岡崎市の東公園では、毎年6月に菖蒲まつりが開催されています。東公園では約100種、1万株の菖蒲が植えられています。この時期はちょうどアジサイの時期でもあるので、菖蒲とアジサイと一緒にみられ、初夏の散策には最適です。

公園内には動物園もあって、家族連れで楽しめるスポットです。最近、プレーリードッグが仲間入りしました。現在名前を公募中ですので、興味のある方は応募してみてもはいかがでしょうか。（飛鷹）



発行日 平成22年6月吉日 発行・編集 デルター株式会社
〒444-0863 愛知県岡崎市東明大寺町9-10 TEL. 0564-65-1088 FAX. 0564-65-7060
公式サイト ▶<http://www.deltar.co.jp> 広報サイト ▶<http://www.delter.jp>
営業部サイト ▶<http://petit.daas.ne.jp/delmaga/> E-mail ▶info@deltar.co.jp
※デルターはWEB・印刷物・デザイン・撮影・取材など幅広い領域をカバーしています。